



文/植田真末

写真/フォトクリエイティブ

第9回

脱

美ジョガー宣言!

Beautiful Jogger

美しく速い、そして芯が強い。

ランニングに魅せられた女性ランナーたちによるリレーコラム。

楽しくおしゃれなだけでは
満足できない私たち

大学時代にワインに目覚め、卒業後、石鍋裕氏に誘われフランス料理クイーンアリス入社。現在は酒店を営む実家に戻り、飲食店へのワイン紹介・販売をはじめ、メニュー作成やサービス指導、イベント企画運営、NHK文化センター講師、ワイン講演を全国で年間100回以上実施。シニア・ワイン・アドバイザー、きき酒師、マスター・オブ・チーズの資格を持つ。走歴13年、フル自己ベスト3時間57分。茨城県水戸市出身(写真は09年出場した東京マラソン)

ぶどう畑を早朝ランする “走るワインアドバイザー”

元旦を除く364日、朝9時から夜11時まで楽しく仕事をしています。私が元気でいられるのは、ランニングのおかげ。心と身体のコンドイションを整えるために、毎朝、千波湖や借葉園付近を走っています。海外出張中の朝のランニングは、ワインに出てくる地名やぶどう畑を走れることがすごく楽しいです。土壌、斜面の向き、気温、風向きなど、ぶどうが育つ環境を目で確認し、肌で感じることは、ワインの味わいを理解する上で非常に重要な体験なので、早朝のランニングも最高に楽しいお仕事です。ただし、ワイン産地は田舎で人はまったくいないし、一面のぶどう畑なので、夢中になっていると道に迷って大変なことになります。ランニングを始めたきっかけは、東京から水戸に戻った当時、仕事が終わるのが早くてそれまでの生活リズムに合わず、毎晩飲み歩いていたら母に「女のくせに毎晩飲み歩くなんで恥ずかしい!」と言われ、仕方なく早く寝たら早く目が覚め、やることがないので走り始めただけ、なんです。同じ頃、脳梗塞で一時は半身不随になった叔父がリハビリして走れるようになってランニング大会に出ていると聞き、動機が不純な自分が恥ずかしく、練習して自分も大会に出よう、とますますはまっていきました。

ランニングを始めて10年以上が経ち、海外出張のついでにランニング大会に出たりして、今やワイン&ランニング

のイメージがすっかり定着しました。しかし、仕事が最優先の自分にとって、フルマラソンを走れることも、いいタイムを出すことも、容易なことではありません。ここ数年のランニングブームで、最近走り始めた知人のほうが大会でいい結果を出したりすると、「ランニング歴が長いだけで速くはない」自分と、時間があつて結果が出せる他人を比較して、自分はだめだ、情けない!と卑下することもしばしば。

その上、昨今の不況による売上げ減少から、夜中まで書類と格闘する日が増え、気分的に眠れないこともあり、身体よりも心が重くて朝起きられず、昨年の6月以降は月間50kmを切っていました。

しかし、昨年の大晦日に「ランナーズ」が定期購読の青いビニール袋に入ったまま何冊も積んであるのを見て、どんな理由であろうと走れなくなるのは自分の責任。どんな風に生きてても他人のせいにはできない。身体や気分が

重くても絶対に走ろう。すべてを乗り越えて、前向きに生きていこう!と急に決心し、今年の元旦から毎朝ランニング、ゴルフの素振り、犬の散歩、筋トレ、ストレッチ、シャワーを浴びて、笑顔で元気に出社を実行しています。大会で自己ベストを狙えなくても、そのときの自分のベストであればいい。今年の勝田マラソンもすごく寒かったけど、ゴールを目指す他のランナーと一緒に耐えている仲間に見えて、がんばれ!と心の中で応援しながら4時間34分でゴールできました。今の自分にはこれが精一杯。だけど2年以内には3時間半を切りたい! 世界中のランニング大会にも出たい! 仕事もマラソンも楽しみながらずっと続けたい! 今、いろんなことで心が重くて走れない人、勇気をだしてランニングしましょう! 自分の人生を、健康に、心豊かに、走り抜いて、美味しいワインでゴールを祝いましょう! あなたの人生に乾杯!

Mami's Favorite



Wine

みんなを笑顔にできるし、自分も幸せになれるワイン。ホテルドーマラソンは知人が多くて特別なワインを出してもらえるので、周りのランナーに解説をしながら走っています(笑)



My course

借葉園&千波湖。最高のランニングコースです。ぜひ走りに来てください!



Family

1犬メルローと2猫ノワール&トラコに癒されます

Race

ブルゴーニュに行くついでにローザンヌマラソンに参加。ワインを飲んでいる人に声をかけたら生産者で、産地や品種を質問していたら、スイスのテレビ局に撮影されていました

